



安岡 明雄 (市民の声)

計画的な土地利用の取り組み

市街地が拡大すればインフラ整備など行政需要がふえると市は示唆している。市の重点政策に沿った明確なメッセージとして、都市計画の準工業地域に特別用途地区の指定を。

準工業地域への大規模集客施設の立地規制については選択肢の一つとして検討する必要はあると考えている。しかしながら、実際に規制を行っていくためには、市全体の土地利用の基本方針を定めた上で、規制の範囲や内容等の検討が必要であることから、現在策定中の都市計画マスタープランで方向づけしていきたい。

歴史の里・檜山のまちづくり

地元要望に対する市長報告があったが、拠点施設は歴史の里の象徴的建物だ。市は、施設のコンセプトをどう考えるのか。また、今後のスケジュールはどうなっていくのか。

今定例会に旧崇徳小学校用地測量業務委託料を計上している。地域内交流、歴史資源を活用した交流をコンセプトに、今後は財源等も検討し、機能・規模等について協議会と話し合いを重ねながら、21年度設計等を行い、22年度の完成を目指し、取り組みを進めたい。

その他の質問事項

- ・クラスター型まちづくりの理解度
・定住促進を図ること
・将来目標人口の設定

議会トピックス

議員定数懇談会を設置しました。

設置しました。

平成20年8月11日、能代市議会は、全会派8人で構成する議員定数懇談会を設置しました。この懇談会では、議員定数のあり方について、協議・検討していきます。懇談会委員は次のとおりです。

- 座長 武田 正廣 (創風会)
副座長 穴山 和雄 (よねしろ会)
委員 原田 悦子 (よねしろ会)
安岡 明雄 (市民の声)
島 貞一郎 (大河・生々・みどりの会連合)
後藤 健 (平政会)
小林 秀彦 (日本共産党)
渡辺 優子 (公明党)

議会改革について 協議・検討します。

各党派から、議会改革について、検討項目が提出されました。今後、議会運営協議会の中で、協議・検討していきます。

行政視察の受け入れ 18議会97名が来能

議会では、議案の審査や事務に関する調査のほか、議員の調査研究のため行政視察を行っています。能代市にも毎年県外から多くの議会が訪れています。今年度は10月16日までに18議会97名が市政全般にわたる項目について調査研究していかれました。来能した議会名と視察項目は次のとおりです。

- 宮城県富谷町 「能代ふれあいプラザ」
大阪府大阪市 「ファミリーサポートセンター」
栃木県小山市 「下水道処理 (生活排水)」
栃木県佐野市 「森林バイオマス 等活用施設整備」
愛知県刈谷市 「能代ふれあいプラザ」
香川県丸亀市 「教育環境適正化」
香川県さぬき市 「教育環境適正化」
神奈川県平塚市 「心の健康づくり・自殺予防事業」
宮城県利府町 「ふれあいプラザ、バイオマス事業」
岩手県宮古市 「森林の利活用 (木のまちづくり)」
岡山県岡山市 「バイオマスタウン 構想」
埼玉県行田市 「教育環境適正化」
愛知県名古屋市 「環境にやさしい自転車 のまちづくり」
奈良県大和郡山市 「自殺予防対策」
岩手県八幡平市 「議会運営、政治倫理条例」
長野県上田市 「バイオマスタウン構想、森林バイオマス等活用施設整備」
岩手県大槌町 「東雲中学校校舎建築 事業」
千葉県茂原市 「森林バイオマス等 活用施設整備」

※来能した議会の約半数は市内に宿泊いただいています。